令和6年度地域包括支援センター事業計画及び予算について説明させていただきます。

まず、15ページをご覧ください。

令和6年度の予算書となります。

上段の令和6年度の介護予防支援事業といたしましては、収入支出ともに7,19万7,000円です。

続いて中段からの令和6年度の地域支援事業ですが、収入支出ともに2,933万9,000円で、支出については説明欄に記載しております事業等を実施していきます。

続いて16ページをご覧ください。令和6年度の事業計画書となります。

初めに一般介護予防事業についてですが、いきいき百歳体操としまして、大佐和地区では自主団体も併せて、現在17団体が活動されています。令和6年度につきましても、継続的に通常実施が行えるよう、更に閉じこもり防止や、筋力低下の防止に繋げていけるよう後方支援していきたいと考えております。また、今後もこの体操実施範囲が拡充されるように活動していきながら介護予防に努めてまいります。

続いて総合相談支援事業になります。包括支援センターに設置している専門職のチームアプローチを基本として相談に対応し、内容や状況によって各関係機関の方々と連携しながら、相談に対応していきたいと考えております。また、そのためにも職員の質の向上や、安定した相談支援が行えるよう体制強化に努めていきたいと考えております。

課題や事例困難ケースなど3地区の地域包括支援センター及び基幹相談支援センター、富津市介護福祉課と毎月行っている定例会の開催を通じて、情報を共有しながら、問題解決に向けて事業を展開し、制度の紹介なども行っていきたいと考えております。

続いて権利擁護業務です。

成年後見制度の利用や、虐待に関する対応等関係機関と連携し、業務を遂行するためには、関係機関との連携は重要でありますので、3地区の地域包括支援センターや富津市介護福祉課と情報を共有し、事業等の実施の検討を行い、ケアマネジャーや介護保険サービス事業者、医療関係者、富津市社会福祉協議会などと連携を密にしながら業務を遂行していきます。

また、その他の事業については、対面を中心にしながら、今回立案し

た計画に基づき相談対応や支援体制の構築等、そして、この度策定されました第9期富津市介護保険事業計画・富津市高齢者福祉計画の基本理念「高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らせるまち」を念頭に相談対応や事業を進めて参ります。

最後に18ページから19ページについては各事業や業務を年間でどのように対応していくかのイメージ 予定表でございます。

以上で大佐和地区の説明を終わります。